

第22回

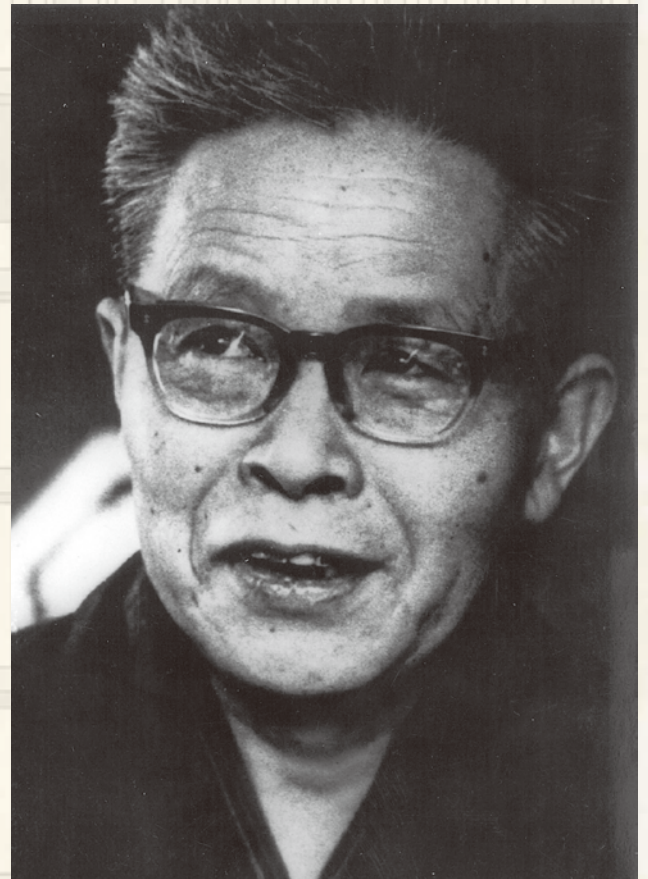
笠岡市

令和8年度

木山捷平文学選奨

募集部門

- 短編小説
- 随筆
- 詩
- 短歌
- 俳句
- 川柳



きやま しょうへい
木山捷平

1904年～1968年



主催 笠岡市、笠岡市教育委員会、
(公財) 笠岡市文化・スポーツ振興財団

第22回「笠岡市木山捷平文学選奨」作品募集要項

1趣 旨 木山捷平を顕彰するとともに、市民の文芸創作活動を奨励し、豊かな市民文化の振興を図ります。

2主 催 笠岡市、笠岡市教育委員会、(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団

3募集部門・賞及び賞金等

募 集 部 門	賞 及 び 賞 金
(1) 短編小説 一人1編 本文原稿用紙50枚以内	木山捷平短編小説賞1名：正賞として賞状、副賞として30万円
*1枚目は、応募用紙（HP掲載のものを印刷してください。）を添付するか、題名（ふりがな）、原稿枚数、氏名（ふりがな）、住所、電話番号、メールアドレス、生年月日を明記してください。（筆名使用の場合は本名を書き添えてください。） *2枚目には400字程度のあらすじを添付してください。 *3枚目から本文です。3枚目の枠外に、題名と通し番号（ページ数）を書いてください。氏名（筆名）は書かないでください。 *パソコン原稿は、A4用紙横置き縦書きで、縦30字×横40行として印刷してください。（A4用紙1枚は原稿用紙3枚換算とします。）	
(2) 随筆 一人1編 原稿用紙10枚程度	最優秀1名、優秀1名、入選1名に正賞として賞状、副賞として最優秀2万円、優秀1万円、入選5千円
*所定の事項を明記した応募用紙を添付してください。用紙は教育委員会生涯学習課及び各公民館に備え付けています。 *パソコン原稿は、A4用紙横置き縦書きで、縦30字×横40行として印刷してください。（A4用紙1枚は原稿用紙3枚換算とします。）	
(3) 詩 一人3編以内 1編につき本文40行以内 (ただし、一行は25字とし、25字を越える場合は2行に換算する。) パソコン原稿は、A4用紙横置き縦書きで縦25字×横40行として印刷 手書きの場合は、A4サイズの400字詰縦書原稿用紙を使用	☆小・中学生の部 入選9名 佳作9名 正賞として賞状、副賞として図書カード ☆一般の部 最優秀1名、優秀1名、入選1名に正賞として賞状、副賞として最優秀2万円、優秀1万円、入選5千円 ※一般の入賞には及ばないが高校生として入賞に値する場合、高校生特別賞 若干名 正賞として賞状、副賞として5千円
(4) 短歌 小・中学生 一人3首以内 高校生 一人5首一組 一般 一人10首一組	☆小・中学生の部（小学3年生から中学3年生まで） 小学生の部 入選各4名 佳作各4名 中学生の部 入選各3名 佳作各3名 正賞として賞状、副賞として図書カード
(5) 俳句 小・中学生 一人3句以内 高校生 一人5句一組 一般 一人10句一組	☆高校生の部 高校生特別賞 各部門 若干名 正賞として賞状、副賞として5千円 ☆一般の部 最優秀各1名、優秀各1名、入選各1名に正賞として賞状、副賞として最優秀2万円、優秀1万円、入選5千円
(6) 川柳 小・中学生 一人3句以内 高校生 一人5句一組 一般 一人10句一組	☆一般の部 最優秀各1名、優秀各1名、入選各1名に正賞として賞状、副賞として最優秀2万円、優秀1万円、入選5千円
*小・中学生、高校生の詩・短歌・俳句・川柳部門の応募者の方には、所定の原稿用紙を準備しています。 *所定の事項を明記した応募用紙を添付してください。用紙は教育委員会生涯学習課及び各公民館に備え付けています。（一般の部） *新仮名づかい・旧仮名づかいを明記してください。（短歌・俳句 一般の部）	

4応募資格・応募規定・その他

応募資格	(1) 短編小説については、全国から公募し、新人の未発表作品とします。 (2) 他の部門は、笠岡市内に在住・在学又は勤務地のある方、過去に笠岡市内に在住・在学又は勤務地のあった方とし、未発表の自作の作品とします。（過去一年間の同人誌への自薦の応募作品は可） (3) 年齢は問いません。 *前年度最優秀受賞者は、同一部門での審査対象とはしません。
応募規定 (部門共通)	(1) 手書きの場合は、A4サイズの400字詰縦書原稿用紙を使用し、楷書でいねいに、黒ペン、黒ボールペン、又は鉛筆（Bか2B）で濃く書いてください。 (2) 原稿には、本文と題名のみを書き、氏名は書かないでください。 また、通し番号（ページ数）を明記し、応募作品はとじないでください。 (3) <u>他の文学賞等との二重投稿及び過去に入選した作品の応募は禁止とします。</u> (4) <u>応募作品を生成AI（人工知能）等で作成することは、不可とします。</u>
その他	(1) 受賞作品を掲載した作品集を発刊します。応募作品は、笠岡市の出版物等に無償で利用できるものとします。 (2) 応募作品はお返ししません。 (3) 選考に関する問い合わせには応じません。

5選考委員

短編小説	佐伯一麦・鶴飼哲夫	短 歌	大月洋子・重藤洋子
随 筆	世良利和・奥富紀子	俳 句	植田桂之・土屋鋭喜
詩	大塚政樹・中尾一郎・河邊由紀恵	川 柳	高木勇三・高橋土筆坊

6応募締切

令和8年9月25日（金）〈短編小説、随筆、詩〉

令和8年11月5日（木）〈短歌、俳句、川柳〉

（郵送の場合、当日消印有効）

直接お持ちになる場合は、月曜日～金曜日（祝日は除く）の午前8時30分～午後5時15分までとします。

電子メール・FAXでは受付できません。

7発 表

令和9年1月に受賞作品を発表し、3月に表彰式を行います。

応募先

〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡 1866-1 笠岡市教育委員会生涯学習課内

(公財)笠岡市文化・スポーツ振興財団 「笠岡市木山捷平文学選奨」担当宛

電話 0865 (69) 2155 (直通)